

平成26年度の主な事業

総務課

- 光ブロードバンド整備事業
- 防火水槽新設

企画調整課

- 空き家有効活用事業
- 民間賃貸住宅家賃補助事業
- 定住住宅取得補助事業
- 商工業資金利子補給補助事業

保健福祉課

- 子ども医療費助成事業（中学校3年生まで拡充）

建設課

- 道の駅（仮称）整備事業
- 急傾斜地崩壊対策事業（西迫地区）

耕地課

- 持留地区区画整理工事

農林振興課

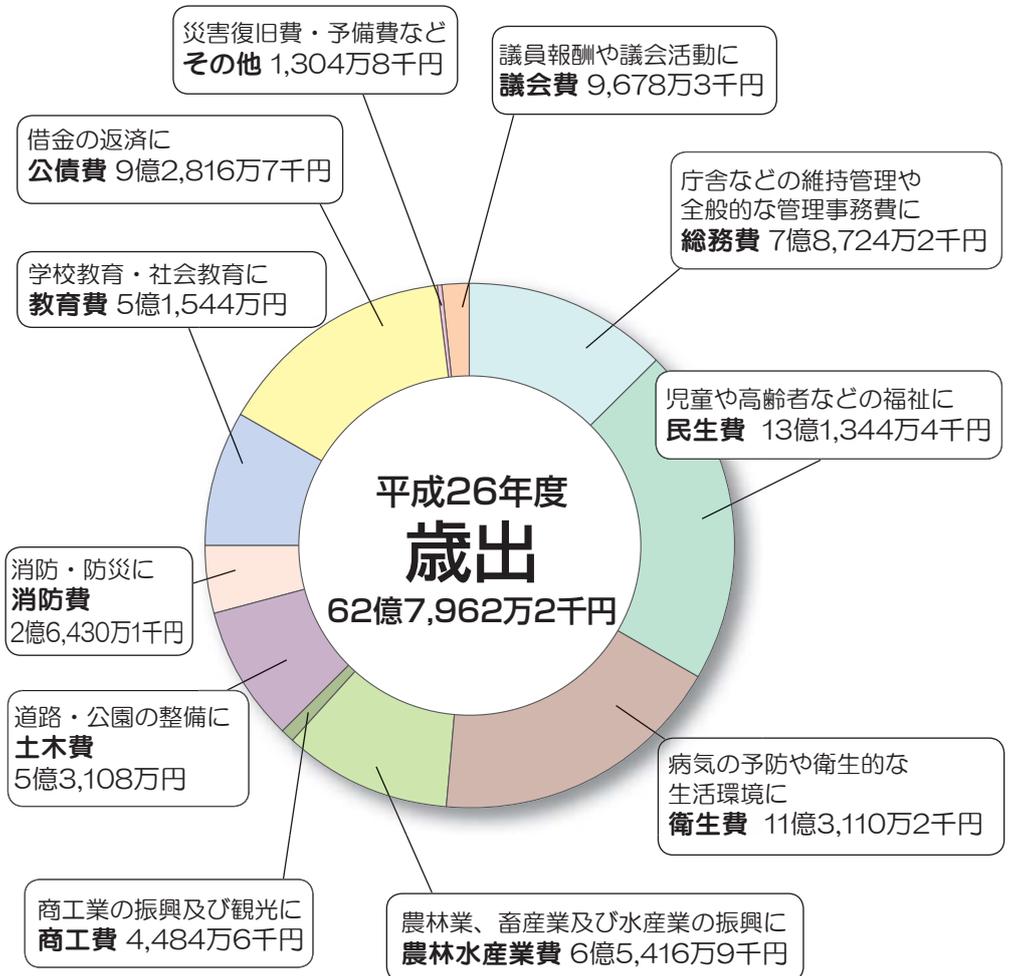
- 活動火山周辺地域防災営農対策事業（畜産農家への機械導入補助）
- くにの松原芝生広場管理業務委託

教育委員会管理課

- 大崎中学校特別教室棟天井扇風機設置工事
- スクールバス運行業務委託
- キャリア教育推進事業（会社見学おおさき巡り）

各会計別予算表

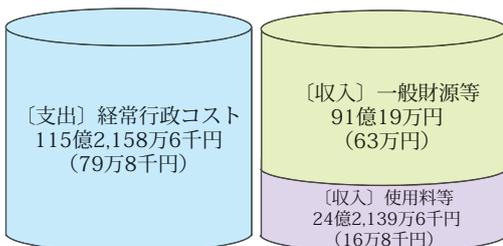
会計名	平成26年度	平成25年度	増減	
一般会計	62億7,962万2千円	65億9,057万3千円	△3億1,095万1千円	
特別会計	国民健康保険事業特別会計	21億4,135万8千円	21億8,241万5千円	△4,105万7千円
	水道事業会計	2億3,373万9千円	2億1,663万2千円	1,710万7千円
	公共下水道事業特別会計	2億2,389万2千円	2億3,131万円	△741万8千円
	介護保険事業特別会計	16億6,045万5千円	16億3,779万5千円	2,266万円
	後期高齢者医療特別会計	1億5,997万4千円	1億5,820万4千円	177万円
合計	106億9,904万円	110億1,692万9千円	△3億1,788万9千円	



財政分析② 大崎町全体の行政サービス費用を家計簿に例えると？

連結行政コスト計算書

【平成24年度連結決算によるものです】



() は住民1人あたり

行政コスト計算書を、月収25万円の家庭に例えて、1か月の家計簿を作ってみました。

25万円のうち、みなさんの生活に直結する食費や光熱水費、医療費に12万円の費用がかかっています。

行政コスト計算書とは？
民間企業の損益計算書に当たるもので1年間の行政サービス費用を示すものです。

家計簿にすると

毎月の支出	
食費（人件費）	5万円
光熱水費（物件費）	3万円
家にかかるコスト （維持補修費＋減価償却費）	4万円
医療費（社会保障給付）	4万円
お祝金・お見舞い金（補助金など）	8万円
雑費	1万円
支出合計	25万円